

関西地区会開催

平成23年7月12日、ラマダホテル大阪で関西地区会(代表幹事：鴨井功、NECシステムテクノロジー(株)顧問)が開催された。参加者60名。

はじめに、関西地区会事務局より平成23・24年度のJISA関西地区会新役員として、鴨井功、平山輝((株)オージス総研 社長)、北本浩之(関電ソリューションズ(株)相談役)、竹中勝昭(コンピューターマネージメント(株)社長)、松木謙吾(日本コンピューター・システム(株)社長)の5名が紹介され、鴨井氏が代表幹事を務めることが報告された。

鴨井代表幹事の開会挨拶では、最初に前年度まで9年に亘り関西地区会代表幹事を務めた(株)オージス総研に謝辞が贈られた。また、我々IT産業は、リーマンショック以降の景気低迷からの脱却と東日本大震災からの復興において、その力が試される時でもあり、クラウド等の潮流を読み、ITの東京一極集中を見直し、ITによる地域社会の活性化を担い、地場のIT化は地場の力で行い、地域からグローバル展開を目指していけるよう、皆さんと共に関西を盛り上げていきたいとの考えが示された。

続いて、JISA浜口会長の挨拶では、会長として3期目を迎え、また4月からはJISAも一般社団法人に移行した。情報サービス産業を巡る環境には未だ厳しい面もあるが、新たな気持ちで業界発展に努力していく。関西地区会の皆さんも、そして阪神タイガースもがんばってほしいとエールを贈った。また、東日本大震災では、地震への対応は過去の阪神淡路大震災の経験に学ぶことが多かったが、かつてない広域な被害、原発の事故、電力の不足等は初めての経験でもあり、これからの社会や国民の考え方が変わっていくかもしれないとの考えを示した。さらには、地震ではITインフラには決定的なダメージは無かったものの、データセンター(DC)の7割以上が首都圏に集中している現状は、地域企業の活用も含めてDC分散を産官で考えていかなければならないのではないかと発言した。そして、大震災からの復興、ITによる未来創造にJISAとして支援し関わっていきたいと述べた。

来賓の経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・田辺雄史課長補佐からは「ITが向かっていく方向」として情報政策の説明が行われた。そこでは、東日本大震災に際しITに何が起こったのか、ITはどう活躍したか、そこから明らかになった課題が示された。さらには、復興に向けてITをどう使いこなしていくか、頼れるITと頼れるIT社会を築くには、これからのIT人材とは等について話しがあった。最後には、データセンターの分散化、災害に強いITアーキテク

チャのあり方、データの再利用と互換性の将来、災害時における相互協調の可能性について、情報サービス産業と考えて行きたいと結んだ。

休憩を挟み、JISA河野副会長・専務理事から「JISA活動状況」として、最近の業界動向(特サビ動態統計)、JISA平成23・24年度役員、東日本大震災に対するJISAの対応、夏の電力需給対策について、SPES2011の案内、JISA・ICTカレッジスキルアップ研修及びITプロフェッショナル育成研修について説明があった。特に最近のトピックとしては、一般社団法人移行後初の定時総会の開催、JISA神山副会長の藍綬褒章受章、JISAアワード2012の創設、JISAダイバーシティ戦略等について報告があった。また、JISA事務局から地域活動として、地域連携推進会議の設置、関西IT利活用促進連絡会議(事務局はKIIS)についても説明を行った。

関西地区会事務局からの報告としては、NECシステムテクノロジーの落合氏より平成22年度活動として地区会活性化事業、採用活動支援事業、地域情報団体との連携活動、会員相互の連携活動、会計報告が行われた。また、平成23年度活動計画及び6月末までの活動報告が行われた。

議事終了後、世界的な建築家でもあり東京大学名誉教授でもある安藤忠雄氏による講演『大阪を元気にする』が行われた。安藤氏は“世界の安藤”としても評価が高く、現在も世界各国に数多くの建築プロジェクトを推進している極めて多忙な建築家である。また、東日本大震災復興構想会議のメンバに首相から直々に指名され、国際的な視野と豊富な実務経験に裏付けされた単刀直入な発言にも定評がある。

講演を聞いて、グローバルな活動には「トップ」と「チーム」の関係が重要であること、幕末・明治維新、戦後の復興、バブル経済崩壊に並ぶ大きな変革期を迎えている今、日本人が忘れかけている「分相応に生きること」「ガマンすること」「自分自身で考えること」が大切であること等を改めて認識した。また、人は理想を失ったときに初めて老いるものであり、理想を持った行動の大切さを感じられた。

会議終了後の懇親会では活発な情報交換が行われ、最後にJISA竹中理事が、新たに創設される「JISAアワード2012」に関西から沢山応募し、率先してダイバーシティを進め、関西地区会としてJISAの活動を大いに盛り上げ、ITにより関西の経済と社会を活性化していこうと締めた。

(手計)